

# 安全なごみ出しの徹底を

政風会  
岡田 千賀子



町長 更なる啓発を行う



▲ステイホーム中に出た山積みの粗大ごみ

**問** 5月20日の粗大ごみ収集日に収集車から発火する事故があり、ごみの中から使い捨てライターなどが見つかった。同時期に他市町でも同様の火災が相次ぎ、稲美町では収集車は大きく焼損した。主な出火原因とされる使い捨てライターの個数は。  
**答** 通常、使い捨てライターは使い切った可燃ごみとして出していただくが、分別間違いによるものは、稲美町の分も含め、令和元年度で1万3355個確認されている。

## おむつ持ち帰り見直しを 町長 意見として園に 伝える

**問** 町が保育園の使用済み紙おむつの回収を補助すれば、保育士の負担軽減、感染症予防などのメリットがある。保護者からの要望に応えるべきでは。  
**答** 園長会に意見を伝える。こども園へ移行予定の町立幼稚園については前向きに検討する。

# ごみ中継施設は必要か

無所属  
香田 永明



町長 住民サービスに必要



▲塵芥処理センター

## ごみ収集時の法令遵守は 藤原 理事 法令・法律の 遵守を徹底

**問** 11時までに収集を完了するという無理なルールが、過積載を起し、スピード超過を誘発していたと考えるが見解は。  
**答** 今後は絶対に、過積載などの法令・法律違反

**問** 直送でも十分に住民サービスを維持できるので、中継施設は必要ないと考えるが。  
**答** 町として直接搬送は考えておらず、中継施設は必要と考えている。

**問** 11時までに収集を終えるというルールは撤廃するのか。  
**答** 町としては11時にごみ収集を完了するとは言っていない。現場の判断で収集運搬していた。現在は午前中に、収集を終えるように伝えている。

**問** 中継施設にかかる費用38億円の内訳は。  
**答** 中継施設の建設費、20年間の維持管理費を含めた金額である。  
**問** これまでは施設建設費を含む20年間の経費は38億円、直送では17億円と説明があったが。  
**答** 直送では、パッカー車15台の場合、20年間で56億円、議員からの提案である8台の場合は36億円である。

町としては8台の収集は無理だと考えている。最低でも10台は必要である。

# 高校生の声を町の政策に

新政会  
河野 照代



町長 若い世代の意見を取り入れる



▲議会に播磨町の未来を語ってくれた

**問** 令和元年12月、播磨南高等学校の生徒14名が議会を訪問し、播磨町の未来を語ってくれた。町の施政方針から様々な意見や提案を受け、議員の使命として彼らの提言より質問する。  
**本町の教育指針に、学** 力向上に努めるとあるが、サイエンス(科学)の部分が不十分と指摘された。企業に協力を仰ぎ、工学に興味を持つ子どもたちが、工業に触れる機会を増やすなどの考えは。  
**答** 小・中学生には、県

端科学技術関係の特別授業を実施している。安全確保が困難なため現在企業の受け入れはない。  
**問** 住み良いまちづくりを目指し、全世代対象の防犯教室を実施しては。  
**答** 加古川警察とも連携し諸団体の依頼に対応できる体制を整えている。  
**問** 水辺の清掃に、より力を入れ自然を生かしたイベントを開催しては。また、土山駅付近に商業施設を増やし、町内外の人が集まるPRや開発をするべきでは。  
**答** 水辺においては、水質調査や清掃活動などの協力をいただいている。駅周辺は住環境と商業施設との調和のとれたまちづくりを今後も進める。  
**問** 様々な催しへの中学生の参加を推進しては。  
**答** 国際交流などの行事に対して提案することはできると考える。

## ▼その他の質問 組織機構改革の現状と課題は

日本共産党  
松岡 光子



# 引き続きコロナ感染症対策を

長谷川理事 中小企業への支援は検討



▲忘れずに申請を(商工会相談窓口)

**問** 持続化給付金の支給要件は、ひと月の売り上げが前年同月比で50%以上減少していることである。20%以上50%未満減少した方への支援は。  
**答** 国の新型コロナウイルス対策第2次補正予算案が示されたこともあり、減少幅が50%未満の中小企業、個人事業主の方に必要な支援を検討したい。  
**問** 本町は、国民健康保険者資格証明書を101人(平成31年3月末現在)に発行している。病院に資格証明書を持参した場合、3割負担とする国からの通知があったが、本人への通知は。  
**答** 近隣市町とも相談したうえで、ホームページのみで周知した。  
**問** 熊本市では、3月3日に49世帯に短期保険証を送付している。本町の配慮ある対応は。  
**答** 今回の通知は、新型コロナウイルス感染症の疑いで受診した時のみの特例措置である。今後、第2波が来た時には検討したい。

**問** 近隣市では次亜塩素酸水の配布があった。なぜ本町は配布されなかったのか。  
**答** 電気分解などをして製造する機器がなく、濃度調整も技術的に困難で、不特定多数の方への配布は断念した。使い慣れた洗剤で必要分のみを家庭で作る方法を、ホームページに掲載した。

## その他の質問 ▼ごみ処理広域化に伴う ごみ収集・運搬体制につ